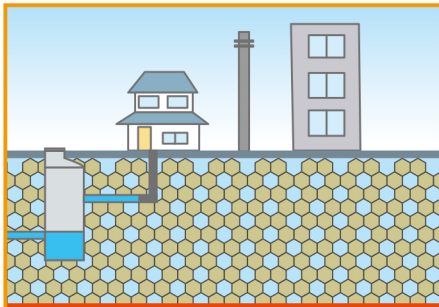


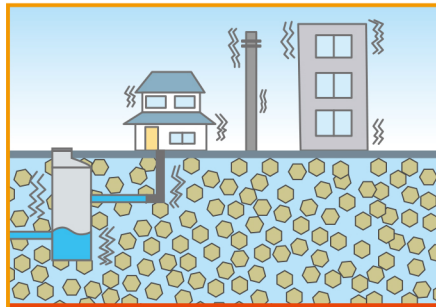
液状化のメカニズム

液状化とは、地下水位が高く、ゆるく堆積した砂地盤などが、地震により激しく揺れることにより、砂の粒子が水と混じり合って地面が液体のようになることをいいます。海岸や河川沿いに広がる低地部で液状化の可能性が大きくなると予想されます。



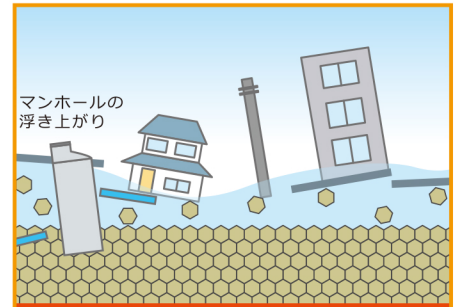
地震前

砂などの緩く積もった地盤で、砂の粒子がお互にくっついて、その間を水が満たして地盤を支えている



地震時(液状化発生)

地震によって砂同士の結合がなくなって、水の中で砂の粒子が浮いたような状態になる



地震後

ばらばらになった砂の粒子は水と分離し下に沈んで密になり、地盤沈下や亀裂を引き起こす

液状化が発生した時に想定される被害

液状化現象が発生した場合、重い建物は支えられなくなり沈みこんだり傾いたりします。一方、内部が空洞になっている軽いもの（マンホールや浄化槽）は浮き上がって地面から飛び出します。

家屋内の安全対策

地震の際、建物が無事でも、家具の転倒や散乱によって出入り口がふさがれて逃げ遅れたり、怪我を負ったりすることがあります。被害をできるだけ少なくするため、安全対策をしておきましょう。

屋内の安全対策



家具固定、ガラス飛散防止、感震ブレーカー設置の補助金については、扶桑町役場防災担当にお問い合わせください